

# 別紙 1

令和 7 年 6 月 10 日

小諸高等学校音楽科生徒 ウィーン研修プログラム計画書

長野県小諸高等学校

- 1 学校名・課程・学科  
長野県小諸高等学校・全日制・音楽科
- 2 研修先  
オーストリア共和国 ウィーン市
- 3 派遣人数（予定）  
20 人（生徒 18 名・引率教員 2 名） ※全学年希望者よりオーディションにより選抜
- 4 研修期間  
令和 7 年 12 月 7 日（日）～13 日（土） 5 泊 7 日（内訳：往復移動 3 日間・現地滞在 4 日間）
- 5 研修内容
  - (1) 目的
    - ①専門性（演奏技術）の向上
    - ②異文化の理解を深め、想像力、コミュニケーション能力の向上
    - ③音楽の都ウィーンの文化芸術に触れることにより、豊かな心を育み、感性を磨く
    - ④文化芸術を通じて社会に貢献できる人材、文化芸術の振興に資する人材の育成
    - ⑤世界における日本の立場や他国との関わりを考える
  - (2) 研修プログラム
    - ①現地で活躍する世界レベルの演奏家による実技レッスン
    - ②音楽大学の学生及び現地留学生との交流
    - ③姉妹校ウィーン・ムジーク・ギムナジウムでのプレゼンテーション及び交流演奏会の開催
    - ④現地での演奏会開催
    - ⑤ウィーン楽友協会での講義受講
    - ⑥ウィーン楽友協会での演奏会鑑賞
    - ⑦国立歌劇場または市立歌劇場でのオペラ鑑賞
    - ⑧ウィーン史跡及び音楽史跡研修
- 6 事前準備スケジュール
  - (1) オーディション及び研修生の決定（8 月）
  - (2) 保護者への説明会（9 月）2 時間
  - (3) 研修生の課題と研修目標の設定（9 月）2 時間
  - (4) 研修先の事前研究（10 月 11 月）6 時間
    - ①ヨーロッパ及びオーストリア共和国の歴史
    - ②音楽史とウィーン音楽史跡
    - ③長野県と小諸市の文化と産業の理解
    - ④姉妹校ウィーン・ムジーク・ギムナジウムとの交流演奏会計画
  - (5) 生活面事前学習（11 月）2 時間
    - ①現地の生活習慣と注意事項
- 7 成果検証の実施
  - (1) 研修生による研修報告演奏会の実施（ホクト文化ホールロビーコンサート等）
  - (2) 研修報告会
    - ①本校において（学校評議員会、PTA 総会）報告会と成果発表（演奏を含む）。
    - ②地域施設等において報告演奏会と成果発表。